

病院長	地域医療連携部長	看護部長	事務部長	医療連携室課長	医療連携室

2025 年度 第 1 回地域医療支援運営委員会議事録

日 時 2025 年 5 月 22 日（木）14：00～15：00

場 所 藤田医科大学岡崎医療センター大会議室 2 / ハイブリッド形式

司 会 柳野 由美

出席者 【院外】(Zoom)田那村 収、升川 浩子、織田 盛久(代理)、青木 裕明、片岡 博喜
(来 訪)松永 禎文、加藤 政幸、加藤 武嗣、稲垣 和人、山本 秀幸

【院内】鈴木 克侍、小島 菜保子、越村 公宣

欠席者 【院外】相川 美代子

【院内】碓氷 章彦

(敬称略)

1. 開会

- ・鈴木病院長より挨拶

地域医療支援病院として、地域医療に貢献し各団体や行政、地域住民の皆様と連携を深くと
っていき、さらなる発展および地域貢献に努めていく。

- ・新委員より挨拶

岡崎市立岡崎小学校 校長 松永禎文

岡崎警察署 署長 加藤武嗣

岡崎市消防本部 消防長 稲垣和人

2. 当院からの報告（資料①）

- ・資料①の通り

前方/後方連携の実績、共同利用の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研
修活動、当院からのお知らせを報告。(鈴木)

3. 各委員からご意見ご要望等

【愛知県医師会 理事 田那村 収】

年末年始にて多く発生したインフルエンザ等の感染症。それ以降、岡崎医療センターの状況
はいかがでしたでしょうか。他院でもかなり大変だったと聞いております。引き続き地域医
療のためによりしくお願いいたします。

【岡崎市医師会 理事 升川浩子】

いつも医師会会員施設との密な連携ありがとうございます。また、検視立会い医業務にもご
協力いただきありがとうございます。岡崎医療センターのスタッフはとても真摯に業務に取り
組んでおり、安心感のある病院だと感じております。今後も医師会会員一同連携を深め、
より良い地域医療の貢献にご協力お願いいたします。

【岡崎歯科医師会 副会長 織田盛久】

救急搬送の割合が岡崎市、幸田町と多くの割合を示しているのですが、入院患者さんおよび外来患者さんについても同様の割合でしょうか。

→同等の割合だと感じている。(鈴木)

地域医療支援研修会について、時間変更に伴いとても参加しやすくなると感じております。

健康寿命の延伸については、岡崎歯科医師会も常に考えており大変共感いたしました。

歯科患者さんにおいても、要介護の患者さんやその兆候がみられる患者さんが来院されたりします、今後予防的にもしくは痛みが出た際にはご紹介すべきでしょうか。

→専門医への紹介をお願いします。(鈴木)

【岡崎薬剤師会 副会長 青木裕明】

医薬品の供給不足不安は変わらず続いております。ご迷惑をおかけしております。

先日、薬機法改正案が閣議決定され、2027 年を目途に一般販売用医薬品がコンビニエンスストアにて販売することが可能な状況になることが予想されます。現在、おくすり手帳等で服用薬剤の確認をしていましたが、今後薬剤師や薬局の手を通らずに入手することで薬剤の相互作用等の情報が十分に把握できない可能性があります。難しい問題ではありますが、薬剤師会としてしっかり検討し、地域医療連携に不便がないよう体制構築していけたらと思います。

→当院としても薬剤部の体制を強化し、情報に不備がないよう努めていく。(鈴木)

【岡崎市保健所 所長 片岡博喜】

冬はインフルエンザ等感染症が流行し、医療機関のひっ迫情報を多く伺いました。幸い下火に経過しておりますが、これから熱中症症例の増加が危惧されます。岡崎市保健所としては地域住民へ啓発活動等行ってまいりますが、病院に搬送されることもあるかと思しますので、現場の皆様におかれましてはご対応のほどよろしくお願いします。

退院支援の実績について、次回以降実数値も記載いただくようお願いいたします。

→次回以降、実数を記載した資料に修正する。(鈴木)

【岡崎市立岡崎小学校 校長 松永禎文】

地域学習や地域住民からの愛着がある岡崎医療センターはとても誇らしい病院だと感じます。矢作地区の患者さんは安城更生病院へ受診することが多いので、岡崎市民としてもっと岡崎医療センターの利用を推進していけたらと思います。

【岡崎学区総代会 会長 加藤政幸】

岡崎学区では 3C (child、call、circle) パトロールというものの実施しております。隊員は 234 名で構成されており、みんなで安心安全を守っていくことをスローガンに活動しております。安心安全の病院、警察署がこの学区に集まり大変嬉しく思います。

えきなんフェスタにいつもご協力いただきありがとうございます。大変好評ではあるのですが、パトロールカーや消防車がないのはなぜだと地域住民から声が上がっています。是非とも安心安全の象徴である車両が来ていただければ、地域住民の安全意識も高まるかと思しますのでご協力いただければありがたいです。

→必要であれば当院の救急車を展示いただいても構わない。ご要望あれば考慮させていただく。(鈴木)

【岡崎警察署 署長 加藤武嗣】

えきなんフェスタへのパトロールカー手配、考慮させていただきます。

これまで検視立会い医業務を医師会にて輪番制で対応いただいておりますが、医師不足状況が続き、岡崎医療センターにご理解いただき昨年 5 月より開始することができました。まだまだ課題が多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、先生方からご意見を頂戴し、より良い運用を検討できたらと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

【岡崎市消防本部 消防長 稲垣和人】

えきなんフェスタへの消防車手配、考慮させていただきます。

岡崎市消防から払い下げでお渡しした救急車ですが、稼働状況はいかがでしょう。

→先日も搬送に活用させていただきました。学園内においてもニーズが高く重宝しております。(越村)

今後も活用の幅が広がるようであれば、2 台目 3 台目も検討していきたいと思います。

岡崎市内救急車稼働率は南分署が 1 番多く、岡崎医療センターへの搬送割合は岡崎市内全体で 34%の受入れ状況です。今後、熱中症やインフルエンザ等で救急車の稼働が多くなることが予想されております。各分署の救急車が空になることもあるため、研修名目で岡崎医療センター内に救急車を待機させ、この地域に 4 台目の救急車として稼働できたらと考えております。

→救急隊員の教育は積極的に対応していきたい。ご依頼いただければ最大限協力させていただきます。救急車の待機についても前向きに検討していく。(鈴木)

【幸田町消防本部 消防長 山本秀幸】

令和 6 年 1 月から 12 月までの救急搬送総件数 2,000 件弱、内 1,176 件が岡崎医療センターへの搬送で割合として全体の 63%を占めておりました。令和 7 年 1 月から 4 月まで 573 件中 366 件を収容いただきました。割合として 64%。搬送時間も短縮できております。引き続きよろしくお願いいたします。

林正道副院長について、幸田町役場および消防職の安全衛生委員会の産業医としてご指導いただいております。引き続きのご対応よろしくお願いいたします。

→行政の中で関わりを持てるということは大変貴重なこと。今後も産業医として林副院長を地域全体で育てていただきたい。(鈴木)

4. 閉会

- ・次回以降の開催予定日は以下の通り

2025 年度第 2 回地域医療支援運営委員会 2025 年 8 月 28 日（木）14：00~15：00

以上

文責：小田